

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	豪雪地帯対策特別事業に必要な経費 (豪雪地帯対策特別事業費補助金)		担当部局庁	国土政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和41年度/平成21年度		担当課室	地方振興課		課長 山本 克也	
会計区分	一般会計		施策名	都市再生・地域再生等の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	豪雪地帯対策特別措置法第9条		関係する計画、通知等	豪雪地帯対策基本計画(平成18年11月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	豪雪地帯における安全安心な暮らしの確保を図るため、道府県豪雪地帯対策基本計画の推進に係る克雪・高齢者支援施設整備及び克雪体制の整備に対して支援する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	克雪、高齢者支援のために必要な施設整備や高齢者世帯等の冬期生活を支援する克雪体制整備のソフト対策を総合的に実施する取組に対して補助を行う。 補助率: 1/2以内						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	124	124	77	—	—
		補正予算	0	0	0	—	—
		繰越し等	6	0	0	—	—
		計	130	124	77	—	—
	執行額	92	107	54	—	—	
執行率(%)	70.5%	86.3%	69.6%	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	高齢者が無理することなく除雪できる体制の整備市町村の割合		成果実績 市町村	126	130	134	201
			達成度 %	62	65	67	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
			活動実績 (当初見込み)			()	()
単位当たりコスト	19 (百万円/箇所・年)		算出根拠	単位当たりコストX/Y=(H20~H22執行額合計)/(H20~H22事業箇所数合計)=253百万円/13箇所=19百万円/箇所・年			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成22年度に創設された社会資本整備総合交付金により支援が可能。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	△	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業の実施により、道府県豪雪地帯対策基本計画が推進され、安全・安心な冬期生活を確保し産業の振興と民生の安定向上が図られているところであるが、事業規模が小さく手法に問題がある等との理由により、本事業は平成21年度にて廃止しているところ。平成22年度は、廃止に伴う経過措置として継続事業(3箇所)の残事業分に対して補助を行った。今後は、社会資本整備総合交付金により支援を行っていくこととしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止 ⑧	<p>昨年度の行政事業レビューで廃止。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

※平成22年度実績を記入

国土交通省

54百万円

豪雪地帯対策特別事業の
指導及び助成



【補助】

A. 都道府県

(2団体)

54百万円

間接補助事業者の指導及
び助成



【間接補助】

B. 市町村

(3団体)

54百万円

豪雪地帯対策特別事業の実
施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.新潟県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
豪雪地帯対策特別事業費補助金	間接補助事業者の指導及び助成	30			
計		30	計		0
B.長岡市			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
豪雪地帯対策特別事業費補助金	豪雪地帯対策特別事業(節水型消雪パイプの整備)	30			
計		30	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.都道府県(2団体)54百万円

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新潟県	豪雪地帯特別対策事業(間接補助事業者の指導及び助成)	30	—	—
2	長野県	豪雪地帯特別対策事業(間接補助事業者の指導及び助成)	24	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.市町村(3団体)54百万円

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	長岡市	豪雪地帯対策特別事業(節水型消雪パイプの整備)	30	—	—
2	野沢温泉村	豪雪地帯対策特別事業(除雪機械の整備)	13	—	—
3	小谷村	豪雪地帯対策特別事業(除雪機械の整備)	11	—	—
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					